

学校だより

令和7年6月20日

しいの実

第8号

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標「仲間と関わり合いながら確かな学力と人権感覚を身に着け、たくましく生きる子の育成」

■ 4小学校合同で自然教室を実施しました。

例年、単独で行っている自然教室ですが、今年度から鈴峰中校区の4小学校合同で小学校を会場にして行うこととなりました。目的は、①鈴峰中学校区各小学校の自然豊かな環境をいかして安全に活動を行う、②鈴峰中校区5年生と一緒に活動することにより、大勢の仲間と協力して学ぶ良さを感じる、③将来、鈴峰中に進学することを見通して早期に交流をはかる、の3つです。そして、初めての合同自然教室を6月6日（金）に鈴西小学校で実施しました。

開会行事です。坂口翔音くんが元気にあいさつしました。



山中さんに作っていただいたドラム缶のかまどです。



飯盒炊爨では、地域の方にアドバイスいただきながら、カレー作りを行うことができました。

できたカレーを協力して配膳します。



おいしいね

上手にできたぞ！



9：30に全ての小学校が鈴西小に到着し、開会行事が始まりました。開会行事の後にはすぐに飯盒炊爨が始まりました。子どもたちは、地域の方にアドバイスをいただきながらも、5月に行った練習の成果をいかして自分たちで分担した仕事を上手に進めることができていました。

飯盒をかまどから降ろして蓋を開け、うまそう炊きあがったご飯を確認した瞬間「おおーっ」と歓声が上がっていました。全ての班がおいしくカレーを食べることができました。

午後からは、鈴西の森を活用したウォークラリーと体育館でのレクリエーションが行われました。レクリエーションは深伊沢小学校の皆さんが企画実行し、4校の児童が混ざった班で楽しみました。

4校が混ざった班で、はじめは少し表情が硬い様子が見られましたがレクが進んでいくごとに少しずつ打ち解けていく様子が見られました。



ウォークラリーでは、4校の児童が混ざった班で協力しながら、問題を解くことができていました。



「アブラハムの子」では、はじめは恥ずかしそうにしていますが、後半はノリノリの様子でした。

レクリエーションを楽しんでいるうちにアッという間に時間が過ぎ、3校の仲間とお別れをして自然教室が終わりました。

鈴西小の子どもたちは、この日までの準備について、「何が必要で、何を今しなければならぬのか。」等自分たちで考え行動する姿を見ることができていました。昨年度に比べると大きく成長していると感じました。反面、他の小学校の子どもたちに比べて足りない部分も見つけることができました。このように、「比べる対象」がたくさんいることで自分たちの行動の改善につながりやすくなります。少人数ではなく大勢で学ぶことの良さだと感じます。今回の貴重な経験を今後の成長に是非つなげて欲しいと思います。



今日のカレーは、また特別においしいです。きみたちの一生懸命の気持ちが味に表れています。

「ごちそうさま」のあと、ボランティアさんに感謝の気持ちを伝えました。

また、自然教室の実施に当たりドラム缶のかまどを製作いただいた、深溝町の山中嘉彦様をはじめ、当日も多くの方々に世話になりました。火おこしや飯盒炊爨などあまり経験のない活動を実施するにあたって、経験豊富な地域の皆様のご協力合つてのことと改めて感じました。改めて御礼申し上げますとともに、子どもたちが「自分たちも地域の一員である。」ことを再認識することができたのではないかと感じました。

来年度は椿小学校で行われる予定です。今後も子どもたちにとって学びの多い行事にしていきたいと思います。

「読書好き」が増えるといいなあ



5月26日～6月6日まで、図書委員会のイベントを実施し、火曜木曜の昼休みに図書館で絵本の読み聞かせを実行しました。

15人から20人ほどの子どもたちが集まり、図書委員の読み聞かせに聞き入っていました。読み聞かせについては、毎月2回ボランティアさんにもお世話になっているところですが、子どもたち自身でも行うことにより、「聞く楽しみ」だけでなく、「読む喜び」「聞いてもらう嬉しさ」も味わうことで、「読書好き」につながるとよいな、と感じました。

図書委員さんありがとう！